



## CO<sub>2</sub>削減を可能とする家電物流効率化モデル

### 事業者（◎：代表者）

- ・三井倉庫ロジスティクス株式会社◎
- ・シャープ株式会社
- ・株式会社富士通パーソナルズ

### 事業概要

本事業は、複数の家電メーカーから各量販店への異なる製品配送システムを一元化するとともに、配送拠点を集約化することにより、大規模な共同配送を実現し、CO<sub>2</sub>排出量の削減を達成した。

### 本取組のポイント

- 大規模な共同配送を実現するにあたり、家電メーカー各社独自の製品配送システムを一元化するため、EDIを核としたラベル情報の疎通管理等を行うシステムを開発した。
- 共同配送に参加した企業間における情報の機密性の担保や、納品先への配送ルートや時間帯の最適化等の課題について、物流事業者、家電メーカーを中心に数々の検討を重ね、協力したことにより実現した取組である。

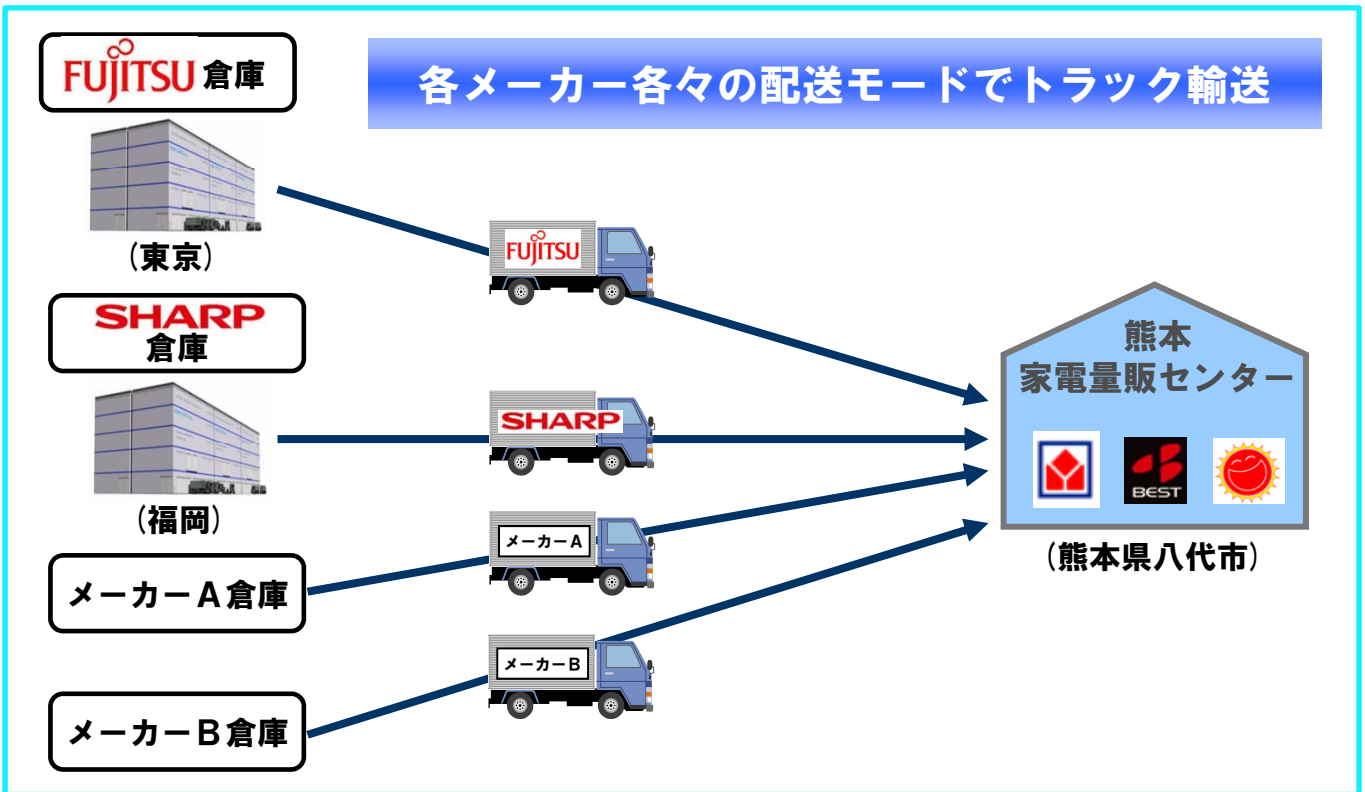
◎ CO<sub>2</sub>排出削減量 22.9トン

◎ CO<sub>2</sub>排出削減率 40.6%

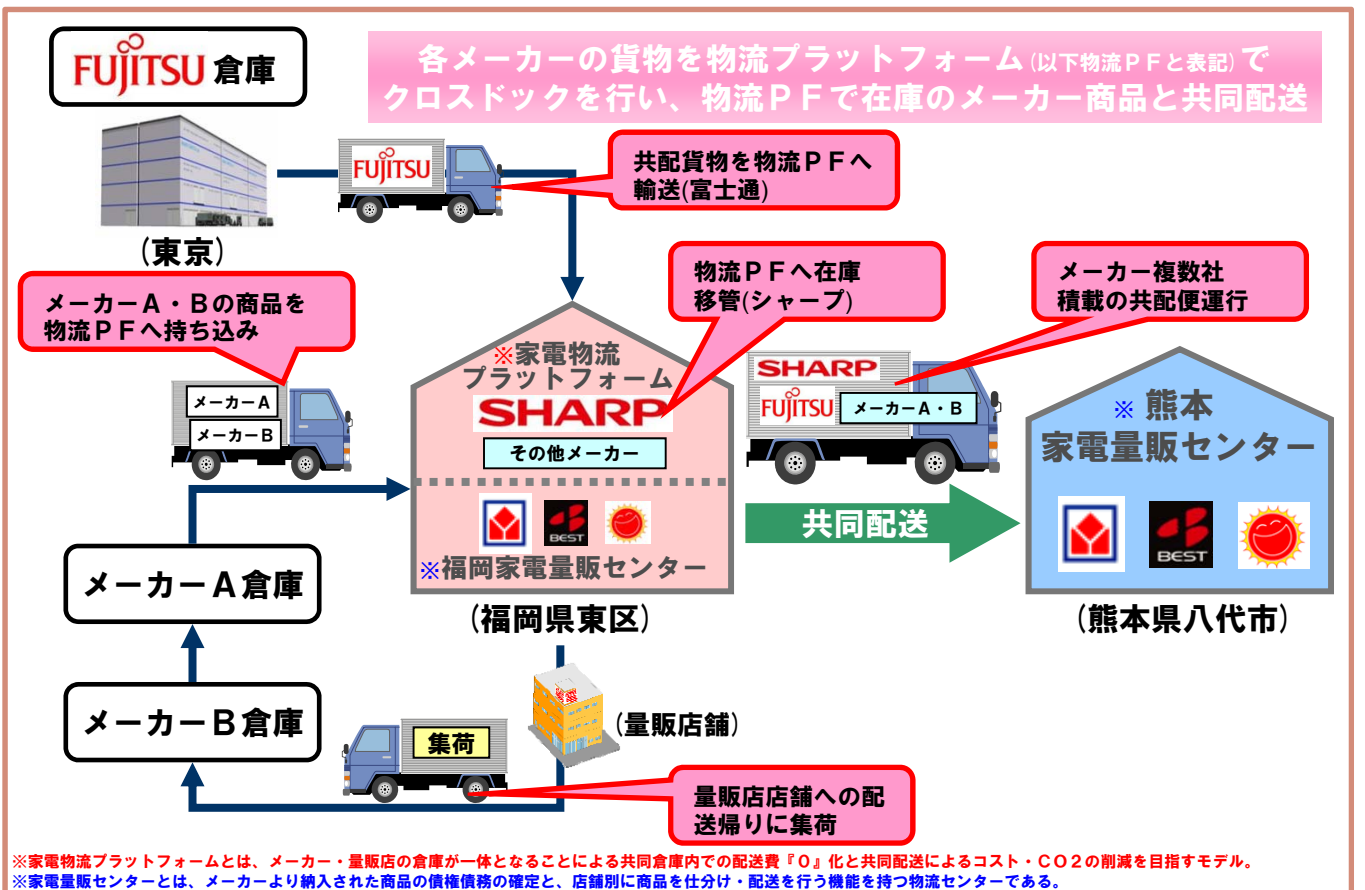


福岡で複数メーカーの家電製品を積み込み、共同配送

## 実施前



## 実施後



※家電物流プラットフォームとは、メーカー・量販店の倉庫が一体となることによる共同倉庫内での配送費『0』化と共同配送によるコスト・CO2の削減を目指すモデル。  
 ※家電量販センターとは、メーカーより納入された商品の債権債務の確定と、店舗別に商品を仕分け・配送を行う機能を持つ物流センターである。